

CFA協会リサーチ・チャレンジ(CFA Institute Research Challenge)2016-2017**京都大学が二連覇、アジア太平洋地区大会へ進出****金融の将来を担う世界の学生たちの頂点を目指す**

一般社団法人日本CFA協会（会長：青砥 政孝、以下、日本CFA協会）は、大学生による企業分析力を競う国内唯一の金融国際大会、CFA協会リサーチ・チャレンジ（CFA Institute Research Challenge）2016-2017の国内大会決勝を、12月9日（金）、東京金融ビレッジにて開催しました。審査の結果、京都大学（指導教官：瀧本 哲史准教授、メンター：鈴木 直樹、CFA、MCUBS MidCity株式会社）チームが昨年に続き優勝を果たしました。京都大学チームは2017年3月にタイ・バンコクで開催されるアジア太平洋地区大会に進出し、世界大会への出場権をかけて強豪大学チームと競います。

企業分析力を競う国内唯一の国際大会である本大会には、国内著名大学から過去最多となる17チームが参加しました。各参加チームはテンプホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO、水田正道、本社：東京都）を分析対象とし、第一次審査で企業分析レポートを提出しました。レポートの審査結果で上位4チームが国内決勝にて英語によるプレゼンと質疑応答を行い、その優劣を競いました。毎年レベルが上がってきており、本年度は例年以上に接戦となりました。各チームとも10分間のプレゼンテーションの質が高く、業界を代表する3人の審査員からの質問に苦戦しながらも同じく10分間の質疑応答を例年以上のパワーで乗り切っていました。別室で行われた審査スコアの集計においても相当な接戦となりましたが、最終的には京都大学が審査員全員から高評価を得て見事優勝しました。同大学をはじめ最終審査に残った各チームは、テンプホールディングスの事業をよく分析し、成長性の評価等に工夫をこらしていた点が評価された一方で、バリュエーションの手法の背景にある考え方の甘さや独自の視点をもった分析の重要性等を専門家の視点から指摘されました。また、惜しくも敗れたチームの中から、テンプホールディングスの事業構造の本質や成長戦略についての的確に捉えたプレゼンテーションを評価され、筑波大学大学院（指導教官：大野 忠士教授、メンター：尾上 康浩、CFA、みずほ信託銀行株式会社）に「テンプホールディングス賞」が授与されました。優勝した京都大学は「4年間一緒に企業分析を勉強してきた仲間と優勝できて本当にうれしい。アジア大会で優勝し、ぜひ世界大会で世界一を目指したい。ここまでずっと寄り添ってくださった、メンターの方や先生など周りのサポートに感謝します。」と述べ、アジア大会へ気持ちを新たにしていました。

京都大学は2017年3月14日、15日にタイのバンコクで開催されるアジア太平洋地区大会へ進出し、4月にチェコのプラハで開催される世界大会への出場権をかけて、アジアの強豪大学と対戦します。



（後列左から）三瓶審査員、堀川審査員、カーン審査員
（前列）京都大学チーム、瀧本准教授

第9回 CFA 協会リサーチ・チャレンジ国内大会出場チーム一覧

出場校 (チーム)	備考
青山学院大学 A チーム	
青山学院大学院 B チーム	
京都大学チーム	優勝
慶應義塾大学チーム	
首都大学東京チーム A	
首都大学東京チーム B	
創価大学チーム	国内大会決勝出場 (ベスト4)
中央大学チーム	
筑波大学大学院チーム	国内大会決勝出場 (ベスト4) テンプホールディングス賞
東京大学チーム	
東京工業大学チーム A	
東京工業大学チーム B	
一橋大学チーム A	国内大会決勝出場 (ベスト4)
一橋大学チーム B	
横浜国立大学チーム	
立命館アジア太平洋大学チーム A	
立命館アジア太平洋大学チーム B	

国内大会決勝審査員(五十音順、敬称略)

氏名	勤務先、肩書
Zuhair Khan	Jeffries Japan Limited Managing Director, Head of Research Department
三瓶 裕喜	フィデリティ投信株式会社 ディレクター オブ リサーチ
堀川 篤	アライアンス・バーンスタイン株式会社 日本株バリュアー 共同最高投資責任者

スポンサー:



以上